

【解答にあたっての注意】

- 一 専門試験は、史料解読と日本史学の二つからなる。
- 一 史料解読の試験は、問一から問四までの四問のなかから二問を選択して解答しなさい。
- 一 日本史学については、問題文の指示に従って解答しなさい。
- 一 解答は問題ごとに別紙の答案用紙を用い、いずれも縦書きで記しなさい。
- 一 史料解読（二問）と日本史学の配点比率は、一対一である。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文学

試験科目 日本文学 科目

問一 次の八つの語句の中から三つを選び、それぞれについて説明せよ。

計帳 藤原実資 名主 東大寺大仏

一国一城令 下り物 三大事件建白運動 工場法

問二 次の設問に答えよ。

古代から近現代に至るまでの、歴史書編纂について述べよ。



問一史料 A

印刷不鮮明の場合は、こちらを参照のこと。

大政宣符

應禁衛市籍人仕諸司諸家事

右得左京職解得凡在市籍者市司可統攝而市人爭屬仕主臣家不遵本司事加召勅則得高家從者或結衆類凌讒信人違亂之甚無由禁止望請極嚴制懲將來者右大臣宣奉勅朝家之制別登市籍者專事商賈不預他業也而今如聞去就任意好仕勢家勢家不加簡閱竊自答遇假以威權擅

法是而不簡豈云善政且一切禁斷勿令更然諸司諸院及諸家知而不札責

其知事者必科違勅罪四位已下無位已上如有隱仕者同科違勅罪仍須錄其犯過具狀申宣但市人於職家因杖八十右軍職亦准此

貞觀六年九月四日

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 日本史学

問題種別 専門試験  
試験科目 史料解説 科目

問一 次に掲げるのは「看聞日記」のうち応永二十五年(一四二八)十月二十七日条と、同年十月二十九日条で、一連の記事とみてよい。この史料を読んで、下記の設問に答えよ。

(応永二十五年十月二十七日条)

当国守護二名、①当所地下人二折紙到来、是八幡神人依敬訴、於國中可致沙汰云云。当御領沙汰人名主等、属守護可致忠節之由申之。当所守護不入之間、②難儀之由先返答了。

(応永二十五年十月二十九日条)

③三位出京、一色守護事賀仰。大刀一振遣之。所司代公方二も一献分遣等遣之。伏見沙汰人名主等軍役勤仕事、無先列之由令申。然而不謂権門勢家、敬密可致其沙汰之由、被載④御教書云々。後日御沙汰如何之間、於沙汰人者難儀免。於名主者可得其意之由申云々。

(出典)『鑑録』補遺二、一六三、一六四頁より、適宜常用漢字に改め、句読点等を補った。

(一) 傍線①をひらがなに改め、その具体的な内容を史料中から探して示せ。

(二) 傍線②は、誰が、誰に対し、どのような理由で、このように述べているのか、説明せよ。

(三) 傍線③の人物は、どのような立場にあり、この史料ではどのような役割を具体的に果たしているか、述べよ。

(四) 傍線④は、誰が誰に対し、どのようなことを述べている文であるか、史料中から抽出して読み下し文に改め、その大意を述べよ。

(五) 最終的に、この事案はどのように決着がつけられようとしているか、述べよ。

(六) この史料に現れる室町中後期の政治・社会情勢について、知るところを述べよ。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史

試験科目 史料解説 科目 附三

問三 次の史料Aは隣接する池廻船町と牛田村(いずれも刈谷藩領)のあいだで生じた争論にかかわるものである。Aとその原文B・Cを読んで、以下の設問に答えよ。なお、もともとの史料(原文B・C)は同じ紙の表裏に記載されている。

また、刈谷藩主は度々交替し、史料Aに登場する松平主殿頭(松平定房)は寛永九年(一六三二)～慶安二年(一六四九)に刈谷藩主であった。また史料Aのときの刈谷藩主は三浦義理である。さらに、史料Aに登場する池廻船宿本陣永田清兵衛家は、それまで本陣職を務めていた横家に替わって寛文十年(一六七〇)から池廻船宿で本陣職に就き、その後は近世後期まで代々その職を継承した家柄である。

- (一) 史料Aを読んで、牛田村と池廻船町との争論内容を簡潔に示せ。
- (二) 牛田村と池廻船町の争論を載いたのは三浦家の家臣たち五名(史料A①～⑤)である。争論の裁定に際して彼らはどうの点を重視したか、その際、牛田村・池廻船町それぞれの主張の論拠を示す資料の特徴についても説明せよ。
- (三) 裁許結果は史料A末尾の空白部分D以下史料末尾に至るまでに示される。空白部分Dについて、原文Bの該当部分を翻刻して示せ。また、裁許結果はどのようなものであったか、述べよ。
- (四) 裁許結果は図面C上に顔引きして示され、その顔上の何ヶ所かには捺印されている。これらは誰の印と考えられるだろうか。史料A(印)下に示した記号①～④で答えよ。また、そのように推定する理由も併せ述べよ。なお、本問は、印影の照合を求めるものではない。
- (五) 池廻船宿は東海道の宿場のひとつである。江戸時代における交通・物流の特徴について、宿場の機能にも触れながら概説せよ。

A

著作権法で定められている公表された著作物を使用し、本Webページでの公衆送信に際しては、著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載するものとします。

典拠：『新編知立市史4 資料編近世』(二〇一八年、知立市)

※史料B・Cは別紙

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 日本史学

問題種別 専門試験  
試験科目 史料解説 科目 附三別紙

㊦

㊧

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史

試験科目 史料解説 科目 問四

問四 史料Aは明治三十一年六月二十五日付の書簡、史料Bは大正三年六月十八日付の書簡、史料CはBの原本である。A・B(C)の宛先は同一人物である。

- (一) 史料Aが書かれた政治状況について説明せよ。
- (二) 史料Bの空欄①に該当する部分を史料Cから探して翻刻して示せ。
- (三) 史料Bの傍線②によれば、筆者は①の事情をうけて筆簡の相手に対する援助を求めていることが分かる。史料Bの筆者(差出者)が誰であるかを明らかにしつつ、史料B(C)が書かれた政治状況について説明せよ。
- (四) 史料A・Bともに、書簡の筆者(差出人)が宛先の人物に何らかの政治的な相談を行っている。こうした相談や諮問を受けて政治上に大きな影響力を行使した人物群は、法に規定のない存在であった。彼らについては史料A中にも指稱があり、史料Bでは宛先者その人がそらした役割を果たしていた。彼らは何と呼ばれていたか、史料A中にみえる漢字二文字で答えよ。またその歴史的変遷について概説せよ。
- (五) 史料Bの宛先記載のうち■で示した最後の四文字を史料Cと対照させて翻刻せよ。また、この四文字の意味するところ(文書上の機能)を簡潔に説明せよ。
- (六) 史料A・Bいずれも近代日本史上における政党内閣成立の問題と関わっている。等しく政党内閣とは言っても、A・Bそれぞれに見える政党内閣には違いがある。その違いについて説明せよ。

史料Aのひは 別紙



大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 日本史

問題種別 専門試験  
試験科目 史料解題科目

別紙

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付については、著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 アジア史基礎 科目

問 次の事項の中から 4つ を選択して説明しなさい (各数行～10 行程度)。

解答は解答用紙に書き、選択した事項の番号を明記すること。現代日本語・

中国語・英語のいずれかで解答してよい。

- (1) 四庫全書
- (2) 楊炎
- (3) パーリ語
- (4) 春秋五霸
- (5) 東遊運動
- (6) 白蓮教
- (7) 九品中正
- (8) 総理各国事務衙門
- (9) 郷紳
- (10) 哀臘風土記

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 漢文文献解説 科目

問題 1) 下記の文章を現代日本語に訳しなさい。

問題 2) 文中にいう「紀年」「列伝」「紀事」の三体によって著された史書につき、  
各々代表的なものの一つ挙げ、その作品(三体各一で都合三点)を解説しな  
さい。

(なお上記二問の解答は、別紙の解答用紙に記すこと)

談孺木墓表(黄宗羲《南雷文案》八)

余觀當世不論何人皆好言作史豈真有三長足掩前哲亦不過此因彼襲攘袂公行苟書  
足以記名姓輒不難辨權而論之史之體有三年經而人與事緯之者編年也以人經之者  
列傳也以事經之者紀事也其間自有次第編年之法春秋以來未之有改也有編年而後  
有列傳故本紀以為列傳之綱有編年而後有紀事故紀事為通鑑之目奈何今之作者矢  
口(司馬)遷(班)固而不屑於(荀)悅(袁)宏……………君乃按實編年不銜文彩  
未嘗以作者自居異日有正明世之事者知在此而不在彼也

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 英語文献解読 科目

次の文章を読んで以下の問いに、日本語あるいは中国語のどちらかで答えなさい。  
(解答は答案用紙に、問題番号を明記した上で書くこと。)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

Leo Suryadinata 1997, *Chinese and Nation-building in Southeast Asia*, Singapore Society of Asian Studies, pp.15-17

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 英語文献解説 科目

問1 インドネシアにおける対中国人政策は、下線部 ㊸ the Sukarno government の時代と比べ、下線部 ㊹ Suharto が権力を握って以降の時代にはどのように変化したか。この文章の内容に即して、経済的側面に対する政策と文化的側面に対する政策のそれぞれについて説明しなさい。

問2 下線部 ㊺ “All Chinese newspapers ..... Indonesian-language newspaper.”を日本語あるいは中国語に訳しなさい。

問3 下線部 ㊻ Chinese schools に対するマレーシアの政策は、どのようなものであったか。この文章の内容に即して、説明しなさい。

問4 インドネシアの宗教政策とマレーシアの宗教政策にはどのような違いがあったか。この文章の内容に即して、説明しなさい。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験  
試験科目 西洋史学 科目

次の (A)、(B) から一つを選び、その選択したテーマについて、西洋史上の  
具体例を示しつつ、可能な限り幅広く論じなさい。

(A) 宗教と社会

(B) 戦争と社会

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験  
試験科目 英語 科目

次の文章をよく読んで、下記の設問に答えなさい。

①

②

③

④

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験  
試験科目 英語 科目

⑤

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については，本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため，これを削除し，出典名等を記載することとします。

⑥

[Akira Iriye, "Review: Transnational History," *Contemporary European History*, Vol.13, No.2 (May 2004), pp.211-213. ]

問1 段落①を日本語に訳しなさい。

問2 段落②～⑥で論じられているトピックのキーワードやキーフレーズ(複数可)を英語で段落ごとに書きなさい。

問3 段落②～⑥の主旨を段落ごとに日本語でまとめなさい。



大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験  
試験科目 ドイツ語 科目

以下のドイツ語の文章を読んで、下線部①、②、③を日本語に訳しなさい。

①

②

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

③

Stefanie Saida, *Heinrich Schliemann*, A. Francke Verlag, 2012, 42.

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験  
試験科目 フランス語 科目

次の A・B は、フランス革命に関する史料の抜粋である。よく読んで下の問いに答えなさい。

A 人権宣言 (1789 年)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問 1 下線部を日本語に訳しなさい。

問 2 この史料の第 1 条～第 3 条の中から条文を 1 つ選んで日本語に訳しなさい。

B ルイ 16 世の裁判に関するロベスピエールの演説 (1792 年)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問 3 下線部を日本語に訳しなさい。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 日本・東洋・西洋の美術科目

問題 下記の A,B 二つの語群からそれぞれ一つ以上の項目を選び、計三項目について説明を加えよ。

【注意】

- ・三項目が二枚の解答用紙に収まるよう論述の量を工夫すること。
- ・解答は、語群の順番通りでなくともよい。
- ・解答の冒頭に、解答する項目名を記すこと。

A群

1. 寓意画
2. ジャポニスム
3. ジョヴァンニ・ペッリーニ《荒野の聖フランチェスコ》
4. ニコラ・プッサン《フローラの王国》

B群

1. 薬師三尊像（奈良・薬師寺金堂）
2. 狩野元信
3. 名古屋城上洛殿
4. 錦絵

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻  
分野・専門 美学美術史学

問題種別 専門試験  
試験科目 英語 科目

問題：以下の英文を和訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典：Eric Fernie, ed., *Art History and Its Methods: A Critical Anthology*, London/New York: Phaidon, 1995, p. 358, l. 25-45.

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史

試験科目 英語 科目

問題 以下の英文を日本語に直しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(Tokyo National Museum, "Special Exhibition UNKBI" pp. iv - v, 2017. 一部改変)

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 ドイツ語 科目

問題：以下の独文を、下線部に関する下記の註を参考にして、和訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

註

auf der Stelle すぐに

Schlagkraft 攻撃力

Drangsal 苦悩、困窮

Anliegen 要請

Usurpator 占領者、強奪者

ummünzen 適用する、利用する

heilsgeschichtlich 救済史の

出典：Norbert Wolf, *Buchmalerei verstehen*, Wissenschaftliche Buchgesellschaft, 2014, Kindle version, 位置 No. 1342-1349.

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 フランス語 科目

問題：以下の仏文を和訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典：Thibaut Wauthion, *Toulouse-Lautrec, l'âme de Montmartre : du Moulin Rouge à l'art publicitaire*, 50 minutes, 2014, Kindle version, 位置 No. 148-153.

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史

試験科目 漢文 科目

問題  
次の漢文を日本語の書き下し文に直しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典…田能村竹田『山中人饒舌』

(竹谷長二郎「竹田画論」、笠間選書、一九九〇年、六二～六五頁)



大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 考古学

試験科目 考古学 科目

1. 日本の先史考古学における時代区分と各時代の転換をもたらした原因について述べなさい。
2. 中近世考古学の意義および課題について述べなさい。
3. 土器使用痕の分析方法を3つ挙げ、それぞれの方法によって解明されることを述べなさい。
4. 掘立柱建物の発掘手順について、その際の留意事項も含め、順を追って述べなさい。
5. 考古学の発達に寄与した次の学者について、その果たした役割を略述しなさい。  

(1) 樋口隆康	(2) 松井 章
----------	----------
6. 考古学の発達に重要な役割を果たした次の遺跡について、その学史的意義を述べなさい。  

(1) 本ノ木遺跡	(2) 難波宮跡
-----------	----------
7. 次の遺跡・遺物について、知るところを述べなさい(遺跡については所在地を記すこと)。  

(1) 加曾利貝塚	(2) 大曲輪遺跡
(3) 養置遺跡	(4) 和鏡

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化人類学

試験科目 文化人類学 科目

問 1、下記のテーマ群の中からテーマをふたつ選び、それぞれ具体的な事例をあげながら自由に論じなさい。解答用紙はひとつのテーマにつき、一枚使用すること。

- ・ 人類学と民族誌
- ・ 無形文化財と無形民俗文化財
- ・ 在来宗教と世界宗教
- ・ 呪術と近代
- ・ ペイターとジェニター
- ・ 地域と祭礼
- ・ 芸術と身体行為
- ・ 家父長制と現代社会

問 2、次の英文を読み、内容を要約しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

\*出典 : Keller, E. 'Why, Exactly, is the world as it is?'. in R. Astuti, P. Jonathan and S. Charles (Eds.), *Question of Anthropology*. Oxford: Berg, 2007. (一部改題)

問 3、近代以降の文化人類学のフィールドワークの原理を簡潔に整理して述べたうえで、あなたが修士研究においておこなうフィールドワークの内容について、全体の研究計画と関連させながらできるだけ詳細に書いてください。調査の目的（何を、どこまで明らかにしようとするのか）、調査項目、調査手法、調査の際の留意点や心構えについて、今日のフィールドワークを取り巻く状況を考慮しつつ、自由に記述してください。

大学院入学試験問題  
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化人類学

試験科目 文化人類学 科目

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

近比、勘解由小路に、御生あらたなる  
 地、御生等、市中の男女、市を散して歸つ  
 る中に、若き女房の、形なたらかなる、常に迎候しけり。  
 また若き法師參籠したりけるが、この女房に心をかけて、な  
 にとしてか御生もかけんと感ひけるあまり、この女房、御の  
 ほど動めし渡れり、打ち赤みたりけるに、耳に、「下向の時  
 初めて行き会ひたらむ人を頼め」と云ひて、立ち退きて見け  
 れば、やがて趣きありて、女房起こして急ぎ上りけり。  
 「しほはせつ」と思ひて、出で迎ひて行き会はんとする程に、  
 御物を置き去りて、飛ねたれども見えず。選かりければ、御  
 物かたがた履きて、先天下向する方を冒履きて、「勘解由小  
 路を取へ行かすらん」と走りめぐりて見るに無し。  
 この女房は、鳥羽を下りにぞ行きける。晴月夜に見けれ  
 ば、入道の馬に乗りたるが、伴の者四五人騎り具して行き会  
 ひたり。立ち止まりて御生はんとする気色を見て、入道馬よ  
 り下りて、「御せらるべき事候ふにや」と云くば、左右無く  
 も云ひ出さず。馬がしくありて、「申すに付けて聞けり思ひ侍  
 れども、勘解由小路の地蔵にこの日來詣で、申す事の侍りつ  
 るが、「この時の下向の時、初めて会ひたらん人を頼め」と  
 云ふ御生を察りて侍るを、申すに付けて聞りあれども、申さ  
 ずともいかなと感ひて」と云ひて、物取しけり女房色なり。こ  
 の入道、表に遅れて三年になりけるが、この地蔵に参りて、  
 仏の御説ひに任せて廻りを繕はんとして、表もせりけるが、  
 地蔵堂へ参る道にてかかる事のありければ、子細にも及ばず、  
 やがて馬に打ち乗せて備りぬ。田舎に所領など持ちて、貧  
 しからぬ武士入道なりけり。

そこの法師は、堅きに走りぬき走り、御物に方履  
 き、汗を流し、思を切りて走り廻れども、なしかは行き会  
 へず。夜も明けぬれば、普く人に問ふに、「ある人はしか  
 しかの方へこそおはすれ」と云ひければ、心のあらはさま  
 だ、その家の辺に行きて、「地蔵の赤理にはあらず、法師が  
 赤理を、まごがましく」とのしりければ、「これは何事ぞ、  
 物狂ひか」と云ふ人にそわれ、用ゐる人も無し。  
 心測れるは若無し。信憑くして仏の御生と感ひければ、彼  
 の女房、思ひの如く望む所に侍りける。大座の方御生と  
 そ自らたく見ゆれ。

(『沙石集』による)

- 【問一】 傍線部(1)の行動は、「若き女房」のどのような心情に基づくものか、具体的に説明しなさい。
- 【問二】 傍線部(2)は、「若き女房」のどのような心情の表れか、直前の発語内容を踏まえて具体的に説明しなさい。
- 【問三】 傍線部(3)は、どのような点について言っているのか、本文の内容に即して具体的に説明しなさい。
- 【問四】 本話の特徴について、参籠と託宣の文化史・思想史の観点から論じなさい。